

# 学生優秀発表賞を勝ち取る学生とは

## － 受賞者アンケートの分析 －

石井 要次(千葉工大／学生・若手フォーラム委員会)

# 自己紹介

石井 要次（千葉工業大学 博士課程学生）

■ 音響学会では、

- 2010年9月 学生優秀発表賞(第2回) 受賞
- 2011年4月～ 学生・若手フォーラム委員会
- 2013年4月～ // 副代表
- 2014年3月 栗屋 潔学術奨励賞 受賞

# 学生優秀発表賞とは

## ■ 学生優秀発表賞

学生優秀発表賞は、平成21年に創設された賞で、将来の音響学の発展を担う若手研究者を奨励するため、春季又は秋季研究発表会において**優秀な発表**を行った学生会員に贈呈されます。

(日本音響学会 公式HPより)

# 2014年春季研究発表会

- 17名が受賞（授賞式は明日）
  - 競争倍率・・・約 20倍！！！！

第9回(2014年春季研究発表会)		
千葉 祐弥	東北大学	音声
中村 和寛	名古屋工業大学	音声
松宮 翔	奈良先端科学技術大学院大学	音声
木下 由貴	同志社大学	聴覚／聴覚・音声
久保 理恵子	北陸先端科学技術大学院大学	聴覚／聴覚・音声
浦野 祐紀	金沢大学	電気音響
鈴木 和博	近畿大学	電気音響
益永 翔平	立命館大学	電気音響
宮内 智	奈良先端科学技術大学院大学	電気音響
安枝 和哉	龍谷大学	電気音響
中村 友彦	東京大学	音楽音響
久保寺 祐季	学習院大学	騒音・振動
井上 尚久	東京大学	建築音響
赤松 亮	桐蔭横浜大学	超音波／水中音響
中村 良平	東京工業大学	超音波／水中音響
林 鷹太郎	明治大学	超音波／水中音響
酒井 虹	東京工業大学	アコースティックイメージング
濱村 真理子	九州大学	音のデザイン

# そもそも優秀な発表とは？

- 発表(12分) + 質疑応答(3分+フリータイム)
- 学生優秀発表賞の「発表」には**質疑応答**が含まれる
  - もちろん, **研究内容**も重要!!!
- わかりにくい発表
  - どこから質問したら良いかわからない・・・
  - 質問が来ない
  - ぼんやりした質問が来る
    - 本質的な議論が行われない

# 学生・若手フォーラム委員会におけるアンケート調査

## ■ 学生優秀発表賞を受賞した方々にアンケートを依頼

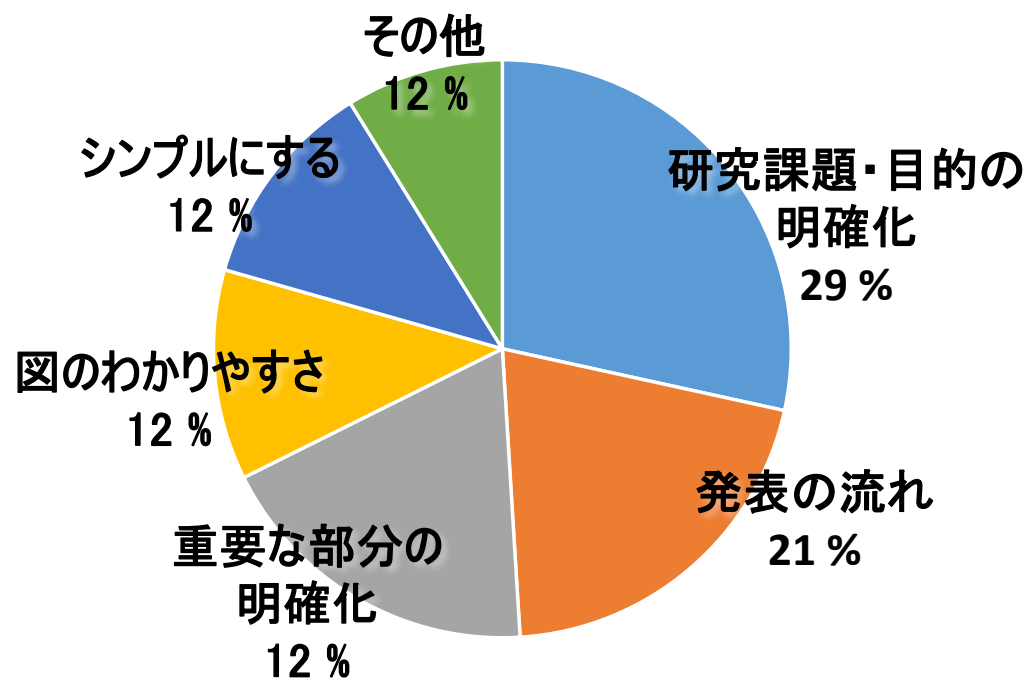
- HPにてアンケート内容を公開  
→ 学生の研究発表の質の向上

## ■ アンケート項目（17項目）

- 工夫した点
- プレゼンで心がけている点
- 苦労した点
- 発表練習方法
- 普段の生活
- どれくらい遊んでいるか
- 研究室での生活時間
- 朝型／夜型
- お酒は研究の潤滑油になるか
- 研究スタイル
- なぜ音響学に入ったか
- 音響学を続けるか
- 夢・目標、研究の目標
- なぜ今の研究を行っているか
- 尊敬する研究者
- 喜びの一言
- 博士課程に進学した理由

# 工夫した点

- 研究課題・目的の明確化
  - ・ 研究の意義を伝える
- 発表の流れ
  - ・ 各スライドの役割や繋がり
  - ・ 背景から目的／結論までの流れ
- 重要な部分の明確化
  - ・ ポイントを明確に
- 図のわかりやすさ
  - ・ 図だけはNG
  - ・ 図がないのもNG
- シンプルにする
  - ・ スライド
  - ・ 話の流れ



# プレゼンで心がけている点

## ■ 話し方

- ゆっくり, ハキハキ, 語尾までしっかり発音する
- 抑揚をつける

## ■ わかりやすさ

- 初見の人が理解できるか
- 興味を持ってもらえるか

## ■ 態度・姿勢

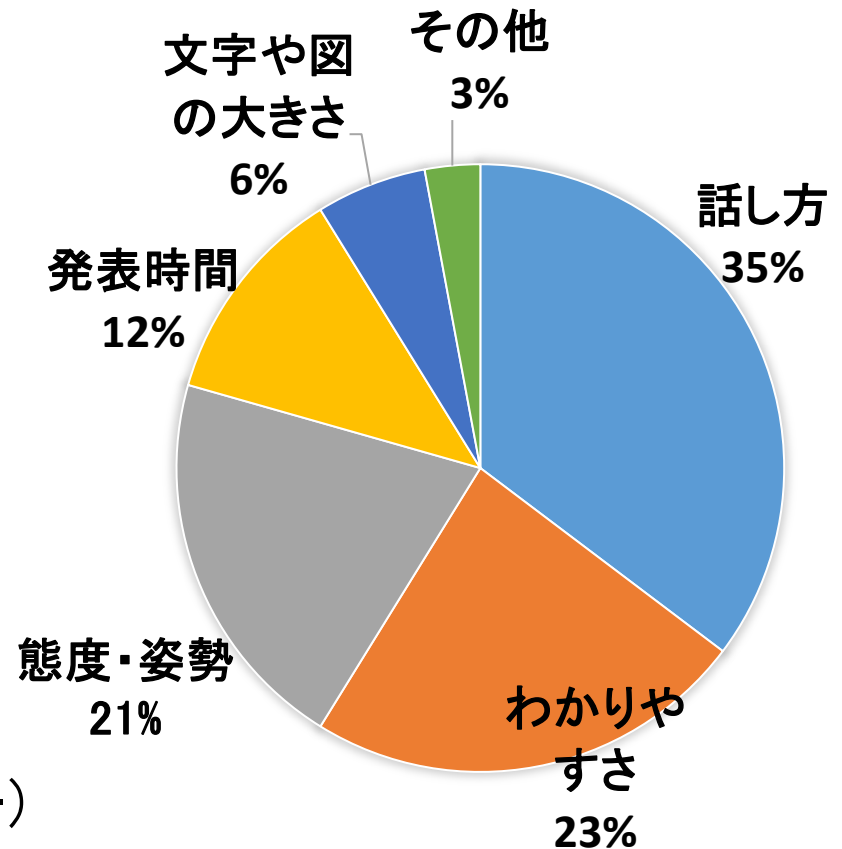
- 前を見る.
- 堂々とする. 楽しそうにする.

## ■ 発表時間の厳守

- 時間オーバーはNG

## ■ 文字や図の大きさ

- 小さすぎはNG(特にポスター)





# まとめると・・・

## ■ 発表スライド

- 全体的な流れが論理的に！
- 研究の目的・意義を明確に！
- 図やアニメーションを適度に用いる！
- できる限りシンプルに！
- ポスター発表では特に文字の大きさに注意！

## ■ 発表時の姿勢

- ゆっくり話し，語尾までしっかり発音する。
- 堂々と前を向き，楽しそうに。
- 重要な部分などで抑揚をつける。

## ■ あとは質疑応答で誠実な姿勢で答えるのみ.....

# 賞を狙っている学生の皆さんへ

## ■ 発表準備

- (指導教員の方からアドバイスをもらいつつ)今回紹介したようなポイントを参考にして練習をつめば「発表」はうまくいくはず

## ■ 質疑応答

- 質問してくる人は、音響学のプロ
- しかし、発表内容に最も詳しい人は、発表者自身
- 誠実な姿勢で答えれば、少くもモタついても問題なし

## ■ ただし、賞を取ることが研究発表の目的になってはいけません。

- 発表の目的： 研究内容について、理解してもらうこと！